

幼児教育・保育施設に係るニーズ調査結果報告書（概要版）

（１）目的・概要

- 〔目的〕 市立幼稚園入園児数の減少と施設の老朽化が進行していることから、各未就学児童施設の利用実態や今後の各施設を求める理由、意見により、地域のニーズを把握し、人格形成の基礎を培う幼稚園等の今後の施設運営の在り方を捉えるもの
- 〔対象〕 主にこれから幼児教育・保育施設を利用すると見込まれる子供の保護者等
- 〔期間〕 令和４年１２月から令和５年１月
- 〔回答数〕 ８２６件

（２）回答者について

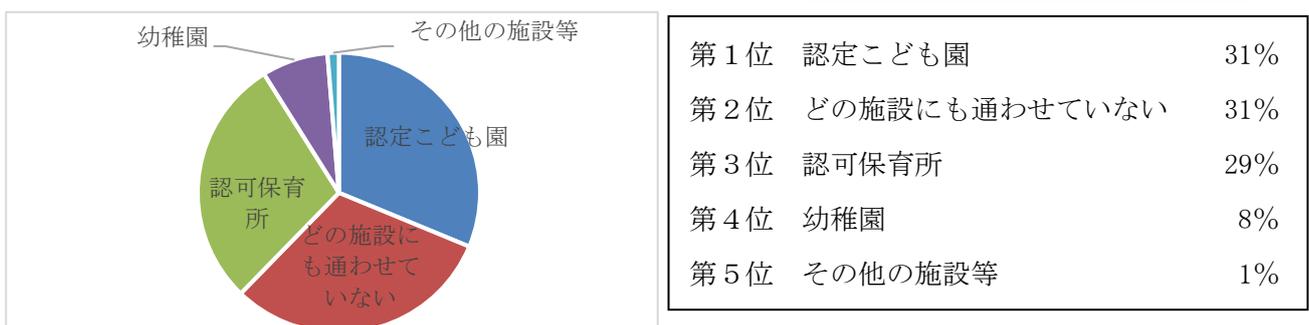
- 〔回答者〕 「男性」２５％、「女性」７５％
- 〔居住地域〕 「迫町」３０％、「中田町」２０％、「米山町」１３％、「南方町」１３％ほか
- 〔同居家族（複数回答）〕 「ご自身の子ども」９０％、「ご自身の配偶者」８７％ほか
- 〔子ども（孫）の年齢（複数回答）〕 「該当なし」３２％、「０歳児」２６％、
「１歳児」～「５歳児」までそれぞれ１３～１７％

（３）ご家族について

- 〔保護者の就労時間〕 「フルタイム」の割合：母親４６％、父親９７％
- 〔日常的に子育てに関わっている方（複数回答）〕 「母親」９９％、「父親」６５％、「祖母」３６％ほか

（４）現在の利用状況について

- 〔現在の利用施設（複数回答）〕 「認定こども園」、「どの施設にも通わせていない」、「認可保育所」、「幼稚園」の順。保育施設の利用状況は全体の６割

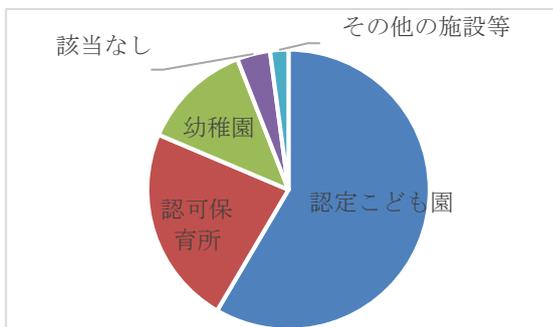


- 〔利用している施設の地域〕 「迫町」の割合が最も高く、次いで、「中田町」、「南方町」の順
- 〔施設を選んだ理由（複数回答）〕 認定こども園・認可保育所は「就労等により家庭で子どもを見ることできないから」が、幼稚園は「幼児教育を受けさせたいから」の割合が最も高く、次いで、双方とも「自宅に近いから」の順
- 〔どの施設も通わせていない理由（複数回答）〕 「家庭で面倒を見ることができるから」の割合が最も高く、次いで「費用がかからないから」の順

		第1位	第2位
全体集計		就労等により家庭で子どもを見ることができないから	自宅に近いから
施設別	認定こども園	就労等により家庭で子どもを見ることができないから	自宅に近いから
	認可保育所		
	幼稚園	幼児教育を受けさせたいから	
どの施設にも通わせていない		家庭で面倒を見ることができるから	費用がかからないから

(5) 今後の幼児教育・保育施設について

〔今後の求める形態〕 「認定こども園」の割合が最も高く、次いで「認可保育所」、「幼稚園」の順。保育施設の選択は全体の8割



第1位	認定こども園	58%
第2位	認可保育所	23%
第3位	幼稚園	13%
第4位	該当なし	4%
第5位	その他の施設等	2%

〔選択した理由（複数回答）〕 「設備が充実している」の割合が最も高く、次いで「送り迎えのしやすい安全な駐車場がある」の順

		第1位	第2位
全体集計		設備が充実している	送り迎えのしやすい安全な駐車場がある
施設別	認定こども園	設備が充実している	送り迎えのしやすい安全な駐車場がある
	認可保育所	送り迎えのしやすい安全な駐車場がある	設備が充実している
	幼稚園	設備が充実している 幼児教育が行われる	送り迎えのしやすい安全な駐車場がある
居住町域別	迫町	保育・教育方針が良い	設備が充実している
	登米町	設備が充実している	保育・教育方針が良い
	東和町		送り迎えのしやすい安全な駐車場がある
	中田町		自宅に近い
	豊里町		
	米山町	送り迎えのしやすい安全な駐車場がある	設備が充実している
	石越町	自宅に近い	送り迎えのしやすい安全な駐車場がある
	南方町	設備が充実している	自宅に近い
津山町			